Portex™ サーモベント™ T2 人工鼻

Providing a Clear Choice ― 明確な選択肢を提供します ―



サーモベントT2 人工鼻

- 滅菌済み、単回使用の人工鼻です。
- 自発呼吸患者の気管切開または気管チューブ装着時に、失われる熱と水分を回収・再利用し、吸気ガスを加温加湿します。
- 使用時間は最大24時間です。
- 酸素投与用ポートおよびサクション用ポートを装備しています。
- 成人および小児で、一回換気量70mL以上の患者にご使用いただけます。
- 気管支肺樹を通じた熱損失を低減します。
- 分泌物の粘度上昇を防ぎ、肺機能変化を抑制します。
- 必要時の追加酸素供給をサポートします。
- 分泌物除去をサポートします。
- 気管上皮細胞を保護し、気道粘膜の損傷を抑制します。

サーモベントT2 人工鼻の仕様

酸素流量/吸気酸素濃度：

O_2 L/分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
O_2 %	27	33	37	42	45	47	53	54	57	60

加湿性能：25mg/L（呼吸回数 15回/分、1回換気量 500mL）

流量抵抗

0.3 hPa, cmH_2O（0.5L/秒、30L/分）
0.7 hPa, cmH_2O（1.0L/秒、60L/分）
1.2 hPa, cmH_2O（1.5L/秒、90L/分）

死腔：11mL

一回換気量範囲：70～500mL

品番	品名	販売単位
100/570/022J ※1	サーモベントT2	25個/箱



サーモベントT2には、サクションポートと酸素ポートが装備されています。

※1 販売名：自発呼吸用人工鼻　ポーテックス・サーモベント
認証番号：221AIBZX00017000

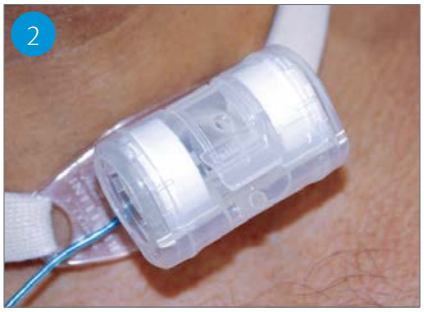
icumedical
human connections

Rx Only. For safe and proper use, refer to the instructions for use.
© 2026 ICU Medical Inc.

サーモベントT2 人工鼻と気管切開チューブの併用方法



15mm コネクタに装着する際は、デバイスの酸素ポートが下向きになるようにセットします。



サクションポートは使用しないときは必ずポートドアを閉じたままにします。



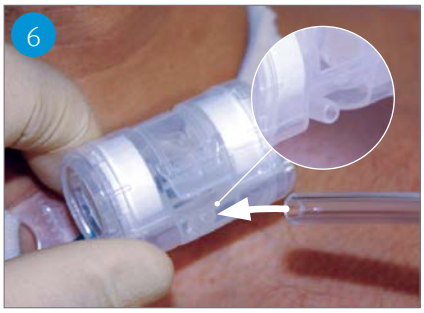
分泌物の吸引が必要になった場合は、サクションポートドアを開けて吸引カテーテルを挿入できる状態にします。



吸引カテーテルを挿入し、吸引を開始します。ポートドアに分泌物がこすれないように注意してください。



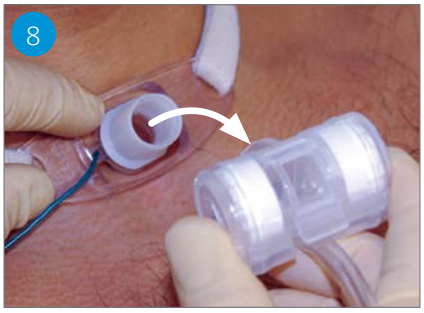
吸引が終わったら、吸引カテーテルを抜き取り、サクションポートドアを確実に閉じます。

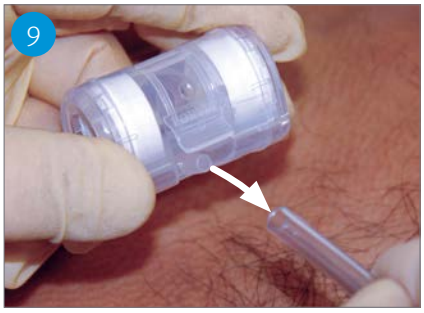


補助的または追加の酸素投与が必要な場合は、サーモベント T2 に酸素チューブを適切な酸素源に接続します。



酸素流量は患者の状態に合わせて調整します。





抜管のリスクを避けるため、酸素ラインを取り外す前に必ずサーモベント T2 デバイスを気管切開チューブから取り外してください。

改良のため仕様は予告なく変更させていただく場合がありますのでご了承ください。
ご使用の前に、電子添文、取扱説明書など、製品付随資料を必ずお読みください。

製造販売業者
ICUメディカルジャパン株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂7-1-1
受注センター：0120-582-855

icumedical
human connections

Rx Only. For safe and proper use, refer to the instructions for use.
© 2026 ICU Medical Inc. | www.icumed.com | P26-5891-JP | 0105006 | Page 2 of 2